

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成 29年 7月 24日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京都市山科区西野山中臣町20番地	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 福田金属箔粉工業株式会社 代表取締役社長 園田 修三
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1
適 用 範 囲	福田金属箔粉工業株式会社 京都・滋賀工場等
導 入 年 月 日	2000年 9月 14日
認 証 番 号	J V A C - E M 0 1 0 0
基 本 方 針	地球環境を守る企業活動をする 活動3原則 ①省資源・省エネルギー化の推進 ②廃棄物及び環境負荷物質の削減 ③環境への影響・付加を最小にする方策および設備等の改良・改善
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. 純生産量に対する原単位電力使用量を前年度比2%以上削減する 2. 純生産量に対する水道使用量を前年度比2%以上削減する 3. 木材の廃棄量を前年度比30%以上削減する
目標を達成するための取組の内容	1. 収率の向上 1-1 不良品コスト等の集計揭示 1-2 原因の調査 1-3 対策の立案と実施 1-4技術標準等の見直しによる再発防止 2. 省エネルギー設備の導入 3. 各薬品濃度の維持管理
目標を達成するための取組の進捗状況	上記の取組みは全て実施中である
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	概ね当初の計画通りに取り組むことができているが、1の収率の向上については各製造部署間での開きがある
事業活動に係る法令の遵守の状況	1. 大気汚染防止法、騒音防止法、下水道法および条例等に係る排出基準値はすべて遵守出来た 2. 環境関連届出等は漏れなし
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	※環境マネジメントシステムは適切、妥当で有効に機能している見直し内容 ①新規事業展開に関連する環境側面の抽出とリスクマネジメントの徹底 ②地域社会とのコミュニケーションを密にする ③予防処置の充実 ④廃棄物からの有価成分の回収強化 ⑤エネルギー使用の平準化と効率化を図ること

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。